

▼前田剣豪会の皆さんが墓前で剣舞を披露



没 河井継之助墓前祭 後142年に遺徳を偲ぶ

没後142年の命日にあたる8月16日、塩沢の医王寺で河井継之助墓前祭が執り行われました。主催者の塩沢観光協会長岩渕正明さんが「皆様のご支援をお願いし、これからも墓前祭を続け、全国に広めたいと思います」とあいさつを述べました。長岡市にある妙園寺住職の内山慶法さんによる読経に続き、目黒町長の追悼の言葉と下田邦夫長岡記念館友の会会長のあいさつがあり、参列者の焼香の後、長岡市の前田剣豪会の皆さんによる剣舞が披露されました。

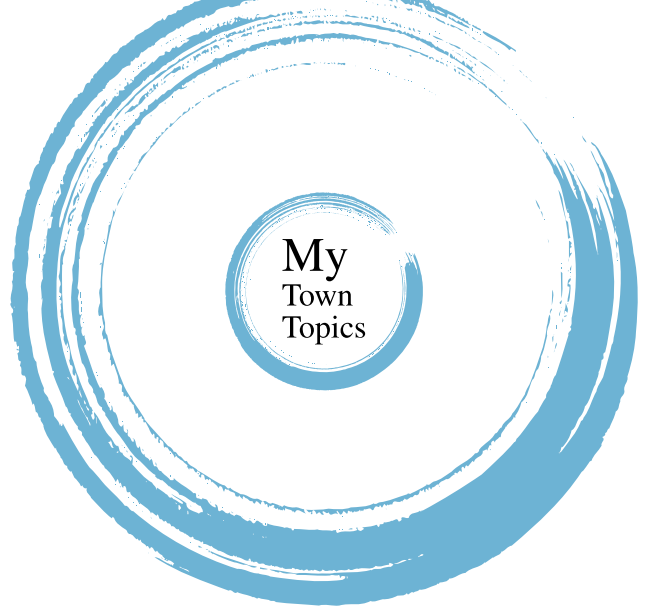
黒 かじっか計画推進事業 谷川の景観をきれいに

黒谷地区のかじっか計画推進委員会（山中美明会長）では、黒谷川の美化を目的に河川にある流木を集め積み重ねて「おんべ」のようにし、点火するイベントを8月8日に黒谷川あまぶち周辺で行いました。20名の参加者が7カ所に流



▲流木の「おんべ」に点火する参加者

木を積み重ね、次々に点火すると、火は勢いよく燃え上がり真夏の「おんべ」となりました。辺りもきれいになり参加者からは、「やって良かった」の声が聞かれました。



昔 福祉の里盆踊り大会 の盆踊り懐かしく、笑顔の輪が幾重にも



▲お囃子にあわせ、にぎやかに踊る参加者

8月19日、長浜の福祉の里で盆踊り大会が行われました。こぶし苑、あさひヶ丘、只見ホームに入所している人たちやそのご家族、町内の各種団体や、各施設の職員、町民の方々が参加して、幾重にも踊りの輪をつくり旧盆踊りや会津磐梯山を踊り楽しみました。お囃子は明和青年団の皆さんと朝日地区老人クラブの皆さんが担当されました。踊りには仮装行列が出るなど盛り上がり、入所者の皆さんもご家族や町民の方々とお話をしながら、心待ちにしていた盆踊りを満喫しました。今年は第10回を記念し来場者に、うちわがプレゼントされました。



記念うちわ